

冬合宿 八ヶ岳

ジョウゴ沢・赤岳西壁主稜・峰ノ松目沢

2022年12月30日～1月1日

参加者：桐林、草田（元会員）



F2 10m

10月ごろから暖めていた計画。赤岳西壁主稜を登ろう！を主軸に、冬合宿。アイスを本格的に始めて2回目だが、贅沢に2本入れ込んだ豪華な年末年始となった。また、年末年始に似合わず天候に恵まれ、優しさに包まれた八ヶ岳になった。

1日目、浜松を2時過ぎ出発。甲府駅で草田氏を5時過ぎピックアップ。赤岳山荘までの林道をえいやで越し、アプローチが短くなった。7時半出発。Wザックを背負う草田氏は、訳もなく楽しそうだった。

赤岳鉱泉に到着しテントを張り、10時半出発。風もなく、先行者と会うこともなく、最高のコンディションでF1。フリーで越した。F2は桐林リード。その後はしばらくフリーで進み、これは登れるのか？と見上げた乙女の滝15m。1パーティが取り付いていた…いつかは…。大滝はパスして、ナイアガラの滝へ。リー



ナイアガラの滝 10m

ドする？の草田氏に行きます！の勢いで桐林リード。滝落口の乗越しが恐怖。固い氷が膝にぶつかった。振り返れば、最高の景色。氷のテラスで赤岳と中岳、阿弥陀を見渡せた。2本目は左側の80度越えを草田氏リード。その後取り付くも、テンションかけまくりなんとかトッパアウト。中華圏パーティと一緒に楽しんだ。15時下山開始。懸垂とクライムダウンで降り、16時前にBC到着。ここでまさかの草田氏が自慢げに持ってきていた黒毛和牛がカラスに食い散らかされていた…。



主稜取付き チムニー

2日目。いよいよ主稜。待ちに待っていた主稜。よし負けない気持ちで！と8時出発。文三郎のトラバースを経て10時前に取付き点。圧倒されていないのを確かめて、桐林リード離陸。言われていたほど難しくなく、チムニーを越した。その後は階段状の岩、ミックス帯を越した。3ピッチ目のルート取りに迷い、ランナーを取れずビビった。いつもリードが微妙だということで、最後の核心の岩のステップを草田氏に譲渡。その後は、ロープを終わ終わらないでディスカッション。不安を覚える側に合わすということで、繋いでもらった。2ピッチで稜線手前。コンテで乗越し頂上へ。14時過ぎ。富士山がデカデカと存在を主張していた。ついに主稜をやり遂げたことに安堵した。行動食も水もろくに取らず、最後らへんはお互いイライラしていた…。16時過ぎBC。



F8 カーテン 5m

最終日。疲れと心地よいシュラフに起床を伸ばし伸ばし。9時前に出発。ここで昨日のロープ付けるつけないことにディスカッション。草田氏のフリーが基本。危険があるところはロープとの考え方をしていることを知れた。ロープを結ぶ回数が増える方が危険との考え方を披露し、お互いの考えを交換した。F2のみロープを着けた。確かにフリーは速い…。いつの間にか、F7を超え、垂直のカーテンF8に10時ごろ到着。先行パーティは左を巻いていた。草田氏にトップロープを張ってもらい、練習。あ、歯が立たない…。嬉しそうにしていた草田氏は、氷柱状も登り切った。後に取り付くも、氷柱が崩壊。足を離陸させることさえできなかった。13時過ぎに下山開始。赤岳山荘に15時着。その後は草田氏の奢りで甲府駅焼肉。ご馳走様でした！インスボン一緒にいきましょう！